



みどりの里

宇奈月小学校だより
第 11 号
平成 29 年 11 月 29 日

目指す子供像 うんとかんがえる子 なかよくする子 つよいからだの子 きれいなこころの子

黒部市立宇奈月小学校 〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山 205 番地 1
TEL (0765) 65-2288 FAX (0765) 65-2800

URL <http://www.tym.ed.jp/sc13/>
E-mail unazuki-es@tym.ed.jp

富山県小学校教育課程研究集会を終えて

研究主任 勝原 亜希子

11月7日(火)、富山県小学校教育課程研究集会(県東部)音楽科研究会が開催され、音楽指導を専門とする教員約120名が本校に集まり、研修を深めました。

昨年度から、富山県小学校教育研究会より2年間の指定を受け、音楽科の学習を中心に、全教員が一丸となって研究に取り組んできました。昨年度も、今年度も、音楽の専門教員が一人もいない中で、私たちはどのように取組を進めていけばよいのか迷い、考え、試行錯誤を繰り返してきました。まさにゼロからのスタートであったわけですが、今はとても大きな収穫を得た2年間であったと振り返っています。特に、二つの事柄が大きな収穫となりました。

一つ目は、子供の表現力が向上したことです。学校や家庭で、今流行の音楽を口ずさみながら軽快なステップを踏む子供たちの姿を目にされた方も多いのではないのでしょうか。「ダンス」や「合唱」、ゲームの要素に溢れた「音楽遊び」等を取り入れた音楽集会や、昨年度の10周年記念行事での音楽披露等で、子供たちの表情がガラッと変わったのです。「もっと～さんみたいに踊りたい」「もっと～な感じで歌いたい」という子供たちの思いや願いを実現するために、職員も時には一緒に夢中になって踊ったり、歌ったり、楽しんだりすることができ、学校全体がとても明るくなったと思います。

二つ目は、「学習指導では、授業者は欲張りすぎتهはいけない」と、改めて気付かされたことです。「何かを学ばせたい」という授業者の強い願いが、つい目の前の子供の姿とかけ離れてしまう失敗が何度もありました。「もっと肩の力を抜き、この時間には大切なことを一つに絞り込み、みんなでその学習の成果を味わえるようにしよう」という共通の思いが教員間に芽生えたことで、子供たちに確かな学習内容の定着が見られるようになったと感じています。そして、子供たちが歌ったり、楽器を演奏したり、音楽を聴いたりしたときに発するすてきな気付きの中に、大切にしたい音楽的要素が散りばめられていることを理解できるようになりました。さらに、子供たちの中に、友達の表現や感じ方等に耳を傾け、互いに学びを深めていく姿を数多く見ることができ、本当に喜ばしく思っています。

今朝も、「BELIEVE」(杉本竜一 作曲)が美しい音楽のシャワーとして校内に流れています。また、給食時のランチルームには、「愛の挨拶」(エルガー 作曲)のバイオリンの優しい音色が響き、昼休みには、「背中越しのチャンス」(「亀と山P」[亀梨和也と山下智久のユニット]歌唱)に合わせて、ダンスクラブが軽快なダンスを練習しています。研究指定の2年間が終わっても、人生を通して音楽を楽しみ、自分を表現できる子供が育つよう努めていきたいと思っています。

研究集会当日の様子



音楽集会「わくわくハーモニー集会」



公開授業 3年2組



公開授業 4年1組

黒部産の食材への理解を深めて……黒部地場産学校給食の日

11月13日(月)は、黒部地場産学校給食の日でした。今年度は、本校がメイン会場となり、堀内市長さんをはじめ地域の皆様、生産者の皆様等、多くのお客様に来校していただきました。今回のテーマは「水と大地の恵みがいっぱい！くろベジオパーク給食」ということで、「いなきびご飯」や「名水ポーク入りの豚汁」等のメニューを味わうとともに、豊かな自然に育まれた食材のおいしさの秘密についても学びました。また、児童会給食委員会による栄養に関する寸劇等を通して、バランスのとれた食事を摂ることの大切さについても学ぶよい機会となりました。お客様からは、「給食がとてもおいしかったですね」「毎日、こうした給食を食べることができて、幸せですね」という感想もあり、和やかな雰囲気の中で楽しい一時を過ごすことができました。これからも、「食」への理解と感謝の気持ちを深めていってほしいと願っています。



堀内市長さんと一緒に食べた楽しい給食



給食委員会からの栄養に関する寸劇発表

フリー学習参観日に多数ご来校いただきありがとうございました！

11月18日(土)のフリー学習参観日に、保護者や地域の皆様に多数参加していただき誠にありがとうございました。両親だけでなく、祖父母や兄弟等、家族揃って参観される方もあり、大変賑わった一日となりました。お子さんの4月からの成長の様子を感じ取っていただけたものと思います。

また、5・6年生は、今年度の第12回市小学校音楽会で発表した合唱曲「宝島」に、寸劇等を加えアレンジしたものも披露しました。保護者の皆様に見ていただいたことで、子供たちは成就感や達成感を味わうことができ、大変満足した様子でした。



1年1組 道徳



2年1組 算数



2年2組 算数



3年1組 国語



3年2組 算数



4年1組 国語(書写)



4年2組 国語



5年1組 音楽



5年2組 体育



6年1組 社会



6年2組 理科



5・6年市音楽会発表曲披露

さらに、この日はPTA会員研修会として、富山県栄養士会事務局長で富山県食育リーダーの荒木麗子さんによる講演があり、食育の大切さについて理解を深めました。参加された保護者からは、「身体づくりには食の大切さが重要だと感じた。これからも子供たちのために頑張りたい」や「親がおいしいと言って食べると、子供たちも食べることが好きになると思い、食事の時間を過ごしている」などの感想がありました。

いのちの大切さを学んだ「いのちの授業」

養護教諭 津幡 洋子

11月18日のフリー参観では、あわの産婦人科の師長 水島香苗助産師さんを講師に迎え、6年生に「いのち」についてお話をいただきました。生命の始まりがとても小さな受精卵だったことや、お母さんのお腹の中で大切に育てられてきたこと、ご先祖様から何代も受け継がれてきたかけがえのない自分のいのちであること等を学びました。また、4組の親子に来ていただき、かわいい赤ちゃんに触れ合う体験もしました。赤ちゃんを抱っこする子供たちの顔はみんな笑顔で、優しく温かな時間が流れていました。

6年生の中には、その後に読んだ家族からの「いのちのメッセージカード」から、「自分がとても大切にされていることが分かってうれしかった」、「これからも自分のいのちを大切に、他の人のいのちも大切にしようと思った」と感想を書いていた子供もいました。

この授業で、自分や周りの人の生命の尊さ、そして家族の愛情を感じ取り、一人一人がいのちの大切さを受け止めたのではないかと思います。



「生命の始まりはとても小さいな」



「赤ちゃんは本当にかわいいな」



「メッセージカードをありがとう」

災害に備えよう！……防災出前授業、黒部川減災対策シンポジウム

国土交通省黒部河川事務所の協力の下、5年生が社会科の学習の一環として、地域防災に関する出前授業に参加しました。実際に現地に出向いて、黒部川の洪水や氾濫による災害の歴史を学んだり、災害から安全や生活を守るための様々な工夫について理解を深めたりしました。また、万一河川が氾濫した際には、自宅から避難したらよいかどうかの判断をみんなで考え合うなど、グループ討議も行いながら、真剣に防災について学習を進めました。また、降雨体験車で1時間当たり180mmの降雨を体験できる体験学習にも参加し、大雨の怖さについても学びました。

11月26日(日)、黒部市国際文化センター コラーレにて、黒部川減災対策シンポジウムが開催され、5年生9名が参加し、これまで学んだことの成果を「防災教育学びレポート」として発表しました。この日は、黒部川右岸の入善町からは飯野小学校の5年生も参加し発表しました。大勢の観客の前で、パソコンを自ら操作し、学習の成果を堂々と発表する本校5年生に盛大な拍手が送られました。



霞堤の見学



降雨体験



黒部川減災対策シンポジウムでの発表

その他の学校生活から



6年 総合 「おらはうす」訪問



5年 図画工作 富山県美術館見学



2年 生活科 パソコン学習



3・4年 総合 サツマイモの収穫